

東北大学所蔵史料文化財指定記念展覧会

狩野文庫本『類聚三代格』と 日本史研究室所蔵「朴沢文書」

—古代中世史料の活用と古文書英訳の試み—

期間

2025年9月29日(月)～10月5日(日)

時間

10時～16時

入場無料

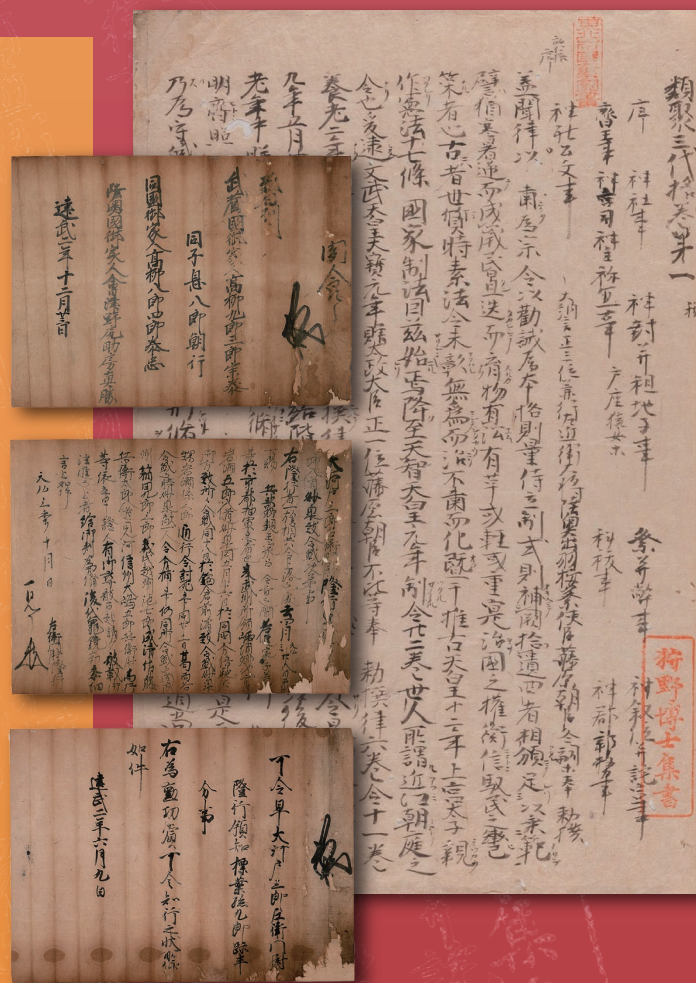
会場

附属図書館本館1階多目的室 (入口を入って左つきあたり) ※受付を通る必要はありません

附属図書館狩野文庫の「類聚三代格」が
昨2024年、宮城県指定文化財に認定されました。
また本年、文学研究科日本史研究室的「朴沢文書」
が仙台市指定文化財となりました。

「類聚三代格」は、日本古代史の重要な法制
史料です。狩野文庫本の「発見」は抄本であり
ながら、他の写本では、失われてしまった個所を補
うことができるため、大いに注目されてきました。
一方、「朴沢文書」は中世の仙台地域を知る上で
欠かせない史料です。この展示は、二つの史料に
高い歴史的・文化財的価値が認められたことを
記念して開かれるものです。

「朴沢文書」については、文学研究科での授業
の成果をもとに英訳を試みています。「類聚三代格」
展示解説の一部も英訳されます。留学生の皆さん
もぜひ足をお運びください。



本展示は、統合日本学センター共同研究
プロジェクトの一環として行われます。

主催

東北大学大学院文学研究科日本史研究室
東北大学統合日本学センター
東北大学附属図書館

後援

東北史学会

問い合わせ先

東北大学大学院文学研究科日本史研究室
nihonshi@ml.tohoku.ac.jp